

平成 26 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 福島福祉施設協会

平成 26 年度社会福祉法人福島福祉施設協会

事業報告書

1. 福祉施設経営

福島市の総合福祉施設経営団体として、合理的かつ能率的な施設経営を行うとともに、地域住民や利用者の要望に対処するため、地域社会と密接な連携を保ちながら、施設機能の活用を図るとともに福祉向上に努めた。

2. 法人運営

- (1) 職員の人材確保のため、臨時雇用職員から正規職員への転換試験を実施し、即戦力となる優秀な人材を7名採用した。
- (2) 法人のホームページにて、各種情報を公開することで多くの人に当法人のことを知ってもらうことが出来た。
- (3) 指定管理施設のあり方を見直し、継続した管理運営が行える体制づくりに努めた。
- (4) 長期的に安定した経営を行うための検討を行った。

3. 役職員の資質向上

- (1) 人間性の向上と職員の士気高揚に努めた。
- (2) 役職員の意思疎通を図り、施設運営の高揚に努めた。
- (3) 職員の人材確保に努めるとともに、各種研修を通じ社会福祉理念、技術の修得向上に努めた。

4. 施設改善事業

- (1) 施設の改修を行い環境改善に努めた。
- (2) 保育所及び児童センターにおいて、福島市と遊具を無償で設置、使用できる遊具使用賃借契約を結び、これまであった遊具を撤去後新しい遊具を設置し、地域への所庭開放を行った。
- (3) 施設の器具、遊具等の点検を行い安全管理に努めた。

5. 評議員会・理事会・監事会の開催

(1) 評議員会

平成 26 年 5 月 29 日（木）

- | | |
|---------|-----------------------|
| 議案第 1 号 | 平成 25 年度事業報告の件 |
| 議案第 2 号 | 平成 25 年度各会計決算認定の件 |
| 議案第 3 号 | 平成 26 年度各会計資金収支補正予算の件 |

平成 26 年 12 月 9 日（火）

- | | |
|---------|--|
| 議案第 4 号 | 専決処分承認の件 |
| 専決第 1 号 | 平成 26 年度各会計資金収支補正予算の件 |
| 議案第 5 号 | 「平成 26 年度福島市保育士等処遇改善臨時特例事業補助金」に係る一時金支給要綱制定の件 |
| 議案第 6 号 | 平成 26 年度各会計資金収支補正予算の件 |
| その他 | 1. 福島恵風園廊下空調機器の設置について |

2. 福島恵風園で発生した事件の報告について
3. 職員採用試験の実施について

平成 27 年 3 月 17 日 (火)

- | | |
|----------|---|
| 議案第 7 号 | 平成 26 年度各会計資金収支補正予算の件 |
| 議案第 8 号 | 就業規則一部変更の件 |
| 議案第 9 号 | 給与規程一部変更の件 |
| 議案第 10 号 | 平成 27 年度事業計画策定の件 |
| 議案第 11 号 | 平成 27 年度各会計資金収支予算の件 |
| 議案第 12 号 | 理事選任の件 |
| 議案第 13 号 | 監事選任の件 |
| その他 | 1. 平成 27 年度職員採用について
2. 福島市への要望に対する回答について
3. 指導監査の結果について |

(2) 理事会

平成 26 年 5 月 29 日 (木)

- | | |
|---------|----------------------------|
| 議案第 1 号 | 平成 25 年度事業報告の件 |
| 議案第 2 号 | 平成 25 年度各会計決算認定の件 |
| 議案第 3 号 | 平成 26 年度各会計資金収支補正予算の件 |
| 議案第 4 号 | 福島恵風園エアコン設置工事に係る契約締結方法決定の件 |

平成 26 年 7 月 10 日 (木)

- | | |
|---------|----------------------------|
| 議案第 5 号 | 福島恵風園廊下空調機器設置工事に係る請負契約締結の件 |
|---------|----------------------------|

平成 26 年 12 月 9 日 (火)

- | | |
|---------|---|
| 議案第 6 号 | 専決処分の件 |
| 専決第 1 号 | 平成 26 年度各会計資金収支補正予算の件 |
| 議案第 7 号 | 平成 26 年度「福島市保育士等処遇改善臨時特例事業補助金」に係る一時金支給要綱制定の件 |
| 議案第 8 号 | 平成 26 年度各会計資金収支補正予算の件 |
| その他 | 1. 福島恵風園廊下空調機器の設置について
2. 福島恵風園で発生した事件の報告について
3. 職員採用試験の実施について |

平成 27 年 3 月 17 日 (火)

- | | |
|----------|-----------------------|
| 議案第 9 号 | 平成 26 年度各会計資金収支補正予算の件 |
| 議案第 10 号 | 就業規則の一部変更の件 |
| 議案第 11 号 | 給与規程の一部変更の件 |
| 議案第 12 号 | 平成 27 年度事業計画策定の件 |
| 議案第 13 号 | 平成 27 年度各会計資金収支予算の件 |
| 議案第 14 号 | 施設長任命の件 |
| 議案第 15 号 | 評議員選任の件 |
| 議案第 16 号 | 福祉サービス苦情解決第三者委員選任の件 |
| 議案第 17 号 | 会長選任の件 |

議案第 18 号	副会長選任の件
議案第 19 号	常務理事選任の件
議案第 20 号	会長職務代理者選任の件
その他	1. 平成 27 年度職員採用について 2. 福島市への要望に対する回答について 3. 指導監査の結果について

(3) 監事会

平成 25 年度業務執行、財務状況監査

平成 26 年 5 月 26 日（月）27 日（火）

6. 役員研修会への参加

平成 26 年度社会福祉法人監事研修

主 催	社会福祉法人福島県社会福祉協議会
期 日	平成 26 年 10 月 29 日（水）
場 所	郡山市 郡山ユラックス熱海
出席者	持地 勝雄（監事）

第 33 回全国社会福祉法人経営者大会

主 催	社会福祉法人全国社会福祉協議会
期 日	平成 26 年 11 月 5 日（水）
場 所	郡山市 ビックパレットふくしま
出席者	木村 六朗（会長）

社会福祉施設経営セミナー「社会福祉法人改革と法人組織の体制強化について」

主 催	独立行政法人福祉医療機構
期 日	平成 26 年 11 月 11 日（金）
場 所	仙台市 仙台サンプラザ
出席者	紺野 久光（事務局長）

平成 26 年度北海道・東北ブロック社会福祉法人経営者協議会

主 催	宮城県社会福祉経営者協議会・社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
期 日	平成 26 年 11 月 27 日（木）、28 日（金）
場 所	仙台市 メルパルク仙台
出席者	曳地 賢治（副会長兼常務理事）

平成 26 年度社会福祉法人理事研修

主 催	社会福祉法人福島県社会福祉協議会
期 日	平成 26 年 12 月 12 日（金）
場 所	郡山市 郡山ユラックス熱海
出席者	渡邊 英子（施設長・理事）

実 績 報 告 書

養護老人ホーム

福島恵風園

1. 運営管理

- (1) 入所者の終のすみ家と考え、快適な生活が送れるよう、健康、食事、生活に潤いを与える行事活動の充実を図った。
- (2) 介護の必要な入所者は介護保険サービスを利用し、機能の維持を図った。
- (3) 被虐待高齢者、一人暮らしによる生活苦の高齢者の積極的受け入れ、また、触法者の受け入れも行った。
- (4) 9月に発生した事件を受け、利用者・職員の心のケアを図ると共に、事件の分析と再発防止に努めた。
- (5) 養護老人ホーム入所の実態が入所基準と大差があるため、行政へ現状の報告と実状に合った職員配置の要求をした。
- (6) 「福島市あらかわクリーンセンター」からの給湯を活用した。

2. 職員体制

- (1) 職員間の共通課題意識向上のため、各種研修会へ参加した。
- (2) 夜間業務、園内清掃のため、「福島市シルバー人材センター」との委託契約を継続実施した。
- (3) 9月に発生した事件後、入所者・職員の不安解消のため9月16日から11月12日まで他事業所（福島恵風園デイサービスセンター、めぐみの風居宅介護支援センター、ホームヘルプステーションめぐみ）の協力を受け夜勤を3人体制で行った。
その後、11月13日から3月31日までは福島総合警備保障株式会社と契約し、夜間警備員を配置した。
- (4) 慢性的な職員の人員不足により、11月より調理職員2名、12月より支援員1名を派遣職員により対応した。
- (5) 福島県緊急雇用創出事業「福資・介護人材緊急雇用支援事業」を受け、福島人材派遣センターより紹介のあった求職者を雇用した。

3. 施設整備

- (1) 赤い羽根共同募金より300万円の補助を受け、エアコン13台を設置した。
- (2) 食堂、集会室、玄関の蛍光灯、西駐車場車庫脇水銀灯をLEDに取り替えた。
- (3) 老朽化による水道管の腐食による水漏れの修理を行った。
- (4) 厨房内の修繕（換気扇、立体炊飯器、コールドテーブル）及び備品を購入し設備の整備を行った。

4. 健康管理

- (1) 定期健康診断、結核検診、検便、インフルエンザ予防接種などを行った。
- (2) インフルエンザ・ノロウイルス予防のための啓蒙、各所の消毒設備と消毒、加湿、ウイルスガードの活用など予防に努めた。
- (3) 食中毒防止のための啓蒙に努めた。

- (4) 9月の事件後、入所者の心のケアのための保健師によるカウンセリングを行った。
5. ニーズへの対応
- (1) アンケートをもとに11種類の旅行を企画し、30名が参加した。
- (2) 旅行の他に花見、紅葉狩り、買い物サービス、園外集会などの充実を図った。
- (3) 花壇や畑の整備を行い、その収穫物を調理することで収穫の喜びを味わった。
- (4) 毎月の食料品の訪問販売と年に2回の衣料品の訪問販売を実施した。
- (5) 洗濯の出来ない入所者のためクリーニング業者の利用を行った。
6. 地域交流活動
- (1) 「七夕盆踊り大会」「運動会」を地域の協力を得て実施した。
- (2) ボランティア、慰問などの積極的な受け入れを行った。
- (3) 学生の「体験学習」の場の提供と保育園、幼稚園の幼児との交流を継続実施した。

通所介護(介護予防通所介護)

福島恵風園デイサービスセンター

1. 運営管理

- (1) 利用者の生活の質の向上のため、担当者会議等に出席し家族や、各居宅介護支援事業所等と連携を図った。
- (2) 外部利用者の送迎を安全に安心出来る体制で実施した。
- (3) 入浴介助については、介護職員の確保をし、充実した介助を実施した。
- (4) 各種行事については、季節に応じたレクリエーション等を実施した。
- (5) 食事については、個々人のニーズに沿った提供を実施した。
- (6) 介護相談員派遣事業の訪問を受け入れ、意見交換を通し、質の向上に努めた。
- (7) 教職員免許法の特例に基づく「介護等の体験」学生の受け入れを実施した。
- (8) レクリエーション・機能訓練等、楽しみながら心身活性化の実施をした。

2. 衛生管理

- (1) ノロウイルス流行、インフルエンザ発症もあり、園内の消毒徹底を図り感染拡大防止に努めた。
- (2) 高濃度プラズマクラスターイオンが発生する空気清浄器を整備し、ウイルス空気感染予防に努めた。
- (3) 浴槽のレジオネラ菌の検査を年1回実施した。
- (4) 職員が感染の媒体にならないよう消毒を徹底した。

3. 環境整備

花壇の整備を行い、季節に応じた草花を植樹した。

居宅介護支援

めぐみの風居宅介護支援センター

活動状況及び事業内容

- (1) 他機関や各サービス提供事業所との連携を深めながら、介護ケアプランの作成や、

- 委託事業である要介護認定訪問調査を実施した。
- (2) 委託を受けて、介護予防プランの作成を行った。
 - (3) 利用者の生活の質の向上を目指し、サービス担当者会議の充実を図りながら介護ニーズへの総合的かつ効率的な視点に基づくサービス対応に努めた。
 - (4) 福島恵風園内において定期的または随時に園内連携会議を実施し、円滑な役割分担の整理をして園内高齢者のニーズに即応した介護サービスの提供に努めた。
 - (5) 事業所内外研修や自己研修での研鑽を重ねながら、専門職としての質の向上に努めた。
 - (6) 地域包括ケアシステム構築に向けた地域ケア会議や地域ケア研修会への参加を行った。
 - (7) 施設入所に際して情報提供のみでなく、施設と家族の間に入り連携と調整を行った。
 - (8) 利用者の緊急時に対応するために、常時（24 時間）担当者と直接連絡をとれる体制を整え、休日、夜間、早朝ともに対応を行った。

訪問介護（介護予防訪問介護）

ホームヘルパーステーションめぐみ

1. 運営管理

- (1) 福島恵風園在園者を中心にホームヘルプサービスを提供した。個人の有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事等の介助、及びその生活全般にわたる援助を提供した。
- (2) めぐみの風居宅介護支援センター、地域包括支援センター及び福島恵風園との連携を密にとりながら、利用者のニーズに十分配慮し、経営基盤の安定に努めた。
- (3) サービス担当者会議への出席等により、保健医療サービス、福祉サービス提供事業者との密な連携を図った。
- (4) 利用者のニーズに対応するため、勤務時間帯を必要に応じて変更し充実したサービス提供に努めた。
- (5) 土曜日、日曜日のサービスに対応するため職員の確保に努めた。

2. 事業内容

- (1) 訪問介護・介護予防訪問介護を提供した。
- (2) 定期的な施設内研修会の実施・積極的な施設外研修会の参加をし、職員の資質の向上と専門性の研鑽に努めた。

3. 衛生管理

- (1) インフルエンザ感染予防処置のため、マスク等ウイルス対策用品を備え使用した。
- (2) 利用者にもノロウイルス流行、感染者発生のため消毒を徹底し媒体とならないよう感染拡大防止に努めた。

生きがい型デイサービスセンター

福島市渡利デイサービスセンター

1. 運営管理

在宅で生活する介護保険対象外の比較的元気な高齢者及び家に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、生きがいと社会参加を促進するとともに、社会的孤立感の解消及び自立生活の助成に努めた。

2. 運営方針

- (1) 市の委託事業として、利用者の確保と各種行事の実施により、円滑かつ安定した事業の促進を図り、事業目的の達成に努めた。
- (2) 高齢者と子どもたちとの交流や、高齢者の生きがいと社会参加の促進に努めた。
- (3) 事業目的の達成のため、地域の各種機関・団体等との連携を図り、安全で安心して利用できるセンターとして、専門性を広く公開し、地域福祉の向上に努めた。

3. 事業内容

- (1) 基本事業を実施した。

生活相談、送迎、入浴サービス、給食サービス（福島市契約書による）、レクリエーション、ふれあい交流事業を行った。

- (2) 生きがい活動として、趣味活動、日常動作訓練、遠足等を実施した。

老人福祉センター

福島市わたりふれあいセンター

1. 運営管理

高齢者が健康で明るく楽しい日々を過ごすために、健康増進器具や囲碁・将棋及び図書、そして入浴並びに休憩等の施設を活用して憩いの場を提供した。

2. 運営方針

- (1) 利用者の安全確保に努めるとともに、生活相談等の事業を実施することにより事業の目的達成に努めた。
- (2) 地域の各種機関・団体との連携を図り、施設を地域コミュニティ活動の場として開放し、サービスの提供に努めた。
- (3) 利用者が活動しやすい雰囲気づくりに努めた。

3. 事業内容

- (1) 基本事業

高齢者の生活相談、健康相談、健康指導を行った。

- (2) ふれあい交流事業

世代間交流事業に参加した。

保育所

福島隣保館保育所、福島保育所、瀬上保育所
福島わかば保育園、福島ふたば保育園、飯坂保育所

1. 運営管理

- (1) 児童福祉施設として、0歳から就学前までの児童が共に生活し、成長への意欲を高め、思いやりや頑張る心等を育くみ、地域との交流を深める保育ステーションとしての役割を果たすように努めた。
- (2) 適切な保育環境を整えるため、継続して線量を確認しながら再度除染を行い、情報を提供することにより、保護者の不安が少しでも軽減するように努めた。
- (3) 職員については、資質の向上、保育活動を重点的に種々の研鑽を積み重ねながら、入所児童の処遇の向上に努めた。

2. 保育状況

- (1) 保護者の理解を得ながら、戸外活動の時間と場所を拡大することにより、子ども達が意欲的に活動し、健康な心と体が育つように努めた。
- (2) 室内あそびを充実させ、異年齢集団保育の利点を生かし、ゆずりあう心、いたわる心、自己表現ができる保育指導に努めた。
- (3) 保育所(園)を地域に開放し、地域の子どもや高齢者との交流を図りながら、より良い人間関係の育成に努めた。
- (4) 多様化する保育需要に積極的に対応するとともに、保育所の有する専門的機能を活用し、地域に開かれた保育所として一時預かり、保育所体験、世代間交流、異年齢児交流を実施した。

3. 食育状況

- (1) 食育年間計画、食育目標、食育方針を作成し、季節、年齢、発達段階に応じた食事の提供を行った。
- (2) 食の嗜好を常に把握しながら食事を提供し、保護者との連携を密に乳幼児の食生活の指導を行った。
- (3) 食育の促進について、保育士と栄養士との話し合いを深め全職員で取り組んだ。
- (4) 医師の診断をもとに、アレルギー除去食を実施した。
- (5) 食中毒防止に常に留意するとともに、食材モニタリングを月2回行うことにより、保護者に安全を周知するように努めた。

4. 健康管理

- (1) 嘱託医による乳児健診(毎月)、内科健診(年2回)、歯科検診(年1回)を実施した。
- (2) 専門機関による蛻虫卵、尿検査(年2回)を実施した。
- (3) 衛生管理マニュアルに沿って、感染症の予防に努めた。

5. 安全管理

- (1) 建物、器具、遊具等の点検を行い、安全管理に努めた。
- (2) 消防署の指導のもとに、総合訓練(通報・避難・消火)を実施した。
- (3) 児童にわかりやすい防災、防犯の指導に努めた。

- (4) 交通安全指導の上で絵本や紙芝居を用いて知らせるとともに、園外保育の中で実地指導も取り入れた。
 - (5) 保育所に関する全ての個人情報の取り扱いにおいては、関係者の同意を得ながら慎重に行った。
6. 施設職員の資質向上
- (1) 施設外研修・研究を実施した。
 - ① 県内外の研修会への参加。
 - ② 各部会研修・研究会（施設長、主任保育士、保育士、給食担当者）への参加。
 - (2) 施設協会内研修を実施した。
 - ① 年間指導計画に基づいた年齢別研修及び報告会。
 - ② 講演会。
 - (3) 施設内研修を実施した。
 - ① 保育課程に基づき保育計画・行事等の検討及び反省。
 - ② 園外研修参加者による報告。
 - ③ 施設ごとにテーマを設定した自主研修。

子育て支援事業

わかば子育てセンター、せのうえ子育て支援センター

1. 運営管理

核家族化少子化とともに、家庭機能の変化、地域社会のつながりの希薄化が進み、子育てに対する様々な問題が広がっている。また、放射能への心配もあり、福島での子育てには未だに不安を拭いきれない状況がある。

そこで、子育て支援センターは親子に寄り添い、不安を受け止めるとともに、様々な情報を提供し、共に学び考え、遊びを通して子どもが健やかに育つよう活動してきた。また、関係機関と連携を図り、共に子育て支援事業を行った。

2. 事業内容

(1) 子育て親子の交流促進を実施した。

保育園を開放してその機能を活かし、多くの人と交流し遊ぶ広場の活動を継続実施してきた。また、地域の親子がより気軽に子育てセンターの活動に参加出来るように、園外にも親子の交流の場をもうけた。

さらに、子育てサークルのリーダー研修、運営サポートをし、サークルの活動がより充実し楽しく活動を続けられるよう支援をした。

(2) 子育て等に関する相談を実施した。

子育て全般について、電話相談、子育て支援センターへ来園しての面接相談、要請に応じて地域に出向いての訪問相談を実施した。

(3) 子育てに関する情報を提供した。

パンフレット配布、ポスター掲示、ガイドブックやインターネットへの掲載等により、活動内容の広報をするとともに「子育て通信」の発行、その他子育て情報の紹介、各種チラシの配布などを行った。

(4) 講習会を開催した。

講師を迎えて親の学習の機会や、親子での様々な体験活動を通して親と子が共に育つよう支援をした。

(5) 関係機関・施設と連携をした。

関係機関と連携、事業の協力を図りながら子育て支援に取り組んだ。

乳幼児健康診査への協力（福島市健康福祉部生涯健康課）、各学習センター講座講師、福島県子どもの心のケア事業協力、福島福祉施設協会子育て支援センター合同会議・行事。

(6) 研修会への参加、調査・学習研究活動をした。

児童厚生施設

福島市東浜児童センター、福島市野田児童センター

福島市蓬莱児童センター、福島市清水児童センター、福島市渡利児童センター

1. 運営管理

地域の児童健全育成の活動拠点として、児童に健全な遊びを通して、自主性、社会性を身に付け情操を豊かにするとともに、運動に親しむ習慣の形成等により体力及び健康の増進を図り、子育てサークル等青少年に関わる各種団体と連携し地域活動の育成助長を推進した。

2. 活動状況

(1) 子ども達が安全、安心して遊べる環境づくりに努め、体力の増進が図られた。

- ① 非常通報装置、防犯カメラによる安全管理。
- ② 遊具等の更新・充実と安全点検整備。
- ③ 修繕等による利用しやすい施設の維持管理。
- ④ 防火、避難訓練の実施。
- ⑤ 定期的な放射線量の測定。

(2) 放課後児童クラブ活動の充実に努めた。

- ① 放射線問題を配慮した事業の展開。
- ② 5 児童センター交流会への参加。
- ③ 保護者会との連携及び会主催事業への積極的な協力。

(3) センター主催事業の充実に努めた。

- ① 放射線問題を配慮した事業の展開。
- ② 地域のニーズを把握した各種教室やクラブ活動等の開催。

(4) 利用者の増加が図れるよう独自の広報紙の発行、ホームページの更新等広報活動の充実に努めた。

(5) 福島県及び福島市などの行政と連携を図り、子育て支援のために活動の場や各種情報の提供、育児サークルへの参加要請などを行い、安心して子育てが出来るように支援・協力を努めた。

(6) 地域の異年齢児交流事業や世代間交流の推進に努めた。

(7) 地域組織の自主的な児童健全育成活動の支援を行った。（地域の安全点検活動等）

- (8) 地域社会の児童福祉にかかわるネットワークづくりのために関係各機関と連携をとって子ども理解に努めた。
- (9) 職員の資質向上を図るため、継続的な研修を実施した。
- (10) 中高生がボランティアなどで参加出来る活動を行い、センター利用へつながるように努めた。

平成26年度 各施設利用状況

養護老人ホーム

施設名		福島恵風園		
定員		100人		
入所	人数(3月31日現在)	98人		
		通常入所		
		男	女	計
		21	77	98
		被災者受入		
		男	女	計
		0	0	0
退所	人数	11人		
	理由	男	女	計
	長期入院	0	0	0
	死亡	3	3	6
	老人保健施設への転所	1	0	1
	他施設への転所	0	0	0
	自宅へもどる	0	2	2
その他	2	0	2	

介護保険施設

通所介護

施設名		福島恵風園デイサービスセンター	
年間延べ利用者数		3,021人	
1日平均利用者数		12.4人	
稼働日数		244日	
登録者	介護度内訳	人数(3月31日現在)	36人
		支援1・2	5人
		介護1	9人
		介護2	9人
		介護3	6人
		介護4	4人
介護5	2人		

居宅介護支援

施設名		めぐみの風居宅介護支援センター	
居宅サービス計画作成実件数		84件	
予防委託実件数		7件	
給付管理年間総数		812件	
認定調査数		130件	
在宅訪問件数		1,159件	

訪問介護

施設名		ホームヘルパーステーションめぐみ	
年間延べ利用者数		12,021人	
1日平均利用者数		33.0人	
稼働日数		365日	
登録者	介護度内訳	人数(3月31日現在)	52人
		支援1・2	3人
		介護1	18人
		介護2	17人
		介護3	7人
		介護4	7人
介護5	0人		

その他の高齢者施設

生きがい型デイサービス

施設名	福島市渡利デイサービスセンター
年間延べ利用者数	2,786人
1日平均利用者数	11.6人
稼働日数	241日
登録者数(3月31日現在)	82人

老人福祉センター

施設名	福島市わたりふれあいセンター		
利用者数	個人	9:00～18:00	24,569人
		上記のうち入浴者	21,714人
利用者数	団体	9:00～18:00	4件
		上記の人数	201人

保育所

(単位:人)

施設名		福島隣保館 保育所	福島 保育所	瀬上 保育所	福島わかば 保育園	福島ふたば 保育園	飯坂 保育所	合計
定員		120	120	80	60	90	90	560
3月31日現在	年齢別在籍人数							
	0歳	19	21	12	9	15	13	89
	1～2歳	44	38	37	28	37	34	218
	3歳	23	26	20	14	24	20	127
	4歳以上	54	49	30	26	35	40	234
	計	140	134	99	77	111	107	668
	充足率	116.7%	111.7%	123.8%	128.4%	123.4%	118.9%	119.3%
年間延べ	定員	1,440	1,440	960	720	1,080	1,080	6,720
	措置人数	1,637	1,564	1,148	883	1,303	1,259	7,794
	充足率	113.7%	108.7%	119.6%	122.7%	120.7%	116.6%	116.0%
	年齢別在籍人数							
	0歳	168	202	104	80	143	140	837
	1～2歳	537	452	435	325	444	399	2,592
3歳	267	322	249	168	295	240	1,541	
4歳以上	665	588	360	310	421	480	2,824	
	計	1,637	1,564	1,148	883	1,303	1,259	7,794

地域子育て支援拠点事業

事業別利用者数	施設名	わかば子育てセンター				
	事業項目	開催回数 (回)	利用数			
			子ども(人)	大人(人)	合計(人)	組
	子育て広場 ホール開放	231	755	675	1,430	673
	親子教室	14	173	162	335	151
	親子で遊ぼう「ちびっこ広場」	6	23	22	45	22
	赤ちゃん広場「ピヨピヨ広場」	39	325	325	650	325
	わかば「子育て広場」	12	72	66	138	64
	合計	302	1,348	1,250	2,598	1,235
	施設名	せのうえ子育て支援センター				
事業項目	開催回数 (回)	利用数				
		子ども(人)	大人(人)	合計(人)	組	
子育て広場「いちようひろば」	144	1,132	921	2,053	921	
親子教室「のびのびくらぶ」	14	215	212	427	181	
赤ちゃん広場「あかちゃんこんにちわ」	17	155	153	308	153	
所庭開放	70	23	16	39	16	
子育てサークル出前保育	11	118	99	217	95	
合計	256	1,643	1,401	3,044	1,366	

施設名	わかば		せのうえ	
	件数(件)	割合	件数(件)	割合
相談内容				
基本的生活習慣	14	28%	2	9%
発育・発達	5	10%	4	18%
医学的問題	3	6%	2	9%
生活環境(近隣・家庭・入園等)	6	12%	4	18%
育児方法	7	14%	5	22%
子育て支援(事業内容・サークル)	16	30%	6	24%
合計	51	100%	23	100%
電話相談	16 件		12 件	
来所相談	35 件		11 件	

児童厚生施設

施設名	東浜 児童センター	野田 児童センター	蓬萊 児童センター	清水 児童センター	渡利 児童センター	合計
利用者数						
幼児	798	1,767	363	1,395	2,193	6,516
1～3年	5,025	17,578	7,737	12,166	16,738	59,244
4～6年	1,148	1,125	558	1,129	3,198	7,158
その他	1,459	2,950	3,034	8,455	4,125	20,023
計	8,430	23,420	11,692	23,145	26,254	92,941
上記のうち登録児童	3,249	13,952	6,791	11,366	13,866	49,224
1日平均利用者	28.6	80.3	39.7	77.5	88.7	314.8
開館日数(日)	295	292	295	299	296	